ラリーで繋ぐ地域と人びと・「モータースポーツ文化ツーリズム」プロジェクト！

スポまち！表彰2026
⑤宮城県利府町

＜目標＞　　計画期間：令和８年４月１日～令和１１年３月３１日

モータースポーツ「ラリー」を通じた地方創生の実現

人口減少社会においても**「選んでもらえるまち」**の実現を目指し、ラリーを基軸とした本町独自の**「モータースポーツ文化ツーリズム」**を構築し、クルマの持つ可能性を最大限に活用した特色あるまちづくりで地方創生を推進します。

KPI：ラリーイベント来場者数（年間）15,000人、町内宿泊者数（イベント開催時）100人、広域連携自治体数１自治体

＜ＰＲポイント＞

◎**「おもしろいまち・選んでもらえるまち」**の実現を目指し、独自のスポーツ文化の創造として**「モータースポーツ」**を選択！
◎**「WRC東北開催！」**を最終目標に、広域連携ラリーで自治体の枠を超えた波及効果を作っていきます！
◎ラリーをツールとして、**「みる」「する」「ささえる」**あらゆる立場の人が関わることができる包括的な仕組みを構築していきます！

〈現状・課題〉

段階的に「モータースポーツのまち・利府」としてのイメージ定着を図っているものの、本町独自のスポーツ文化として持続的に発展させていくためには、**観光ブランドの確立と広域への情報発信**、体験型コンテンツの整備による**経済波及効果の拡大**、官民連携による**担い手育成と機運醸成**、そして周辺自治体との広域連携による**競技規模の拡大**という４つの課題に取り組む必要がある。

〈総合的な取組内容〉

1.「みる」環境の整備・観光ブランドの確立

〇観戦エリア「ギャラリーステージ」の整備
〇シンボリックドライバー招致体験企画
〇ラリー観戦・バックヤードツアーの開催



4. 広域連携・競技規模の拡大

〇利府町モータースポーツ推進協議会の設立
〇広域連携ラリーの開催（林道、産廃処分場の利活用）
〇練習場の整備検討

2.「する」機会の拡充・地域経済への波及

〇おもてなし応援エリアの設置
〇ラリーカーへの同乗体験や00カー同乗体験
〇オートテストチャレンジ・ラリー講習会の開催
〇滞在型「2days rally」の開催



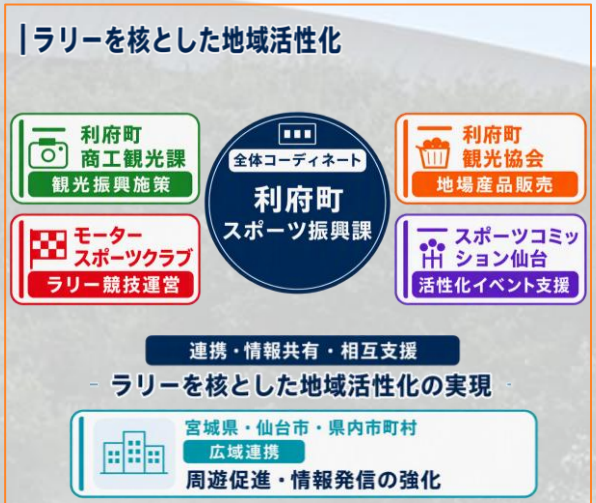


3.「ささえる」人材・体制の育成

〇ラリー応援団の創設（説明会やセミナー開催）

経済効果・観光振興・地域活性化・モータースポーツの振興など、広範囲にわたる効果を波及させながら、将来的な「WRC（世界ラリー選手権）」の東北開催を目指します！

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号
利府町企画部
スポーツ振興課　022-767-2190